公民

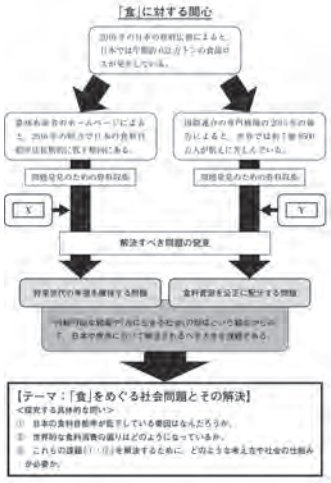
現代社会

第6問　問1

問1　次ページの図は，「『食』をめぐる社会問題とその解決」というテーマでグループ討議を行った内容を整理するために生徒Aが書いたものである。図中の［X］には，図の下方にある＜探究する具体的な問い＞の①について考えるために，44ページ以降の資料**ア**～**ウ**のうちの二つが，［Y］には，＜探究する具体的な問い＞の②について考えるために，46 ページ以降の資料**カ**～**ク**のうちの二つが入る。その組合せとして最も適当なものを，次の①～⑨のうちから一つ選べ。［32］

（※編集部注：「次ページの図」「資料ア～ウ」「資料カ～ク」は下に表示）

	X	Y
①	**ア**と**イ**	**カ**と**キ**
②	**ア**と**イ**	**カ**と**ク**
③	**ア**と**イ**	**キ**と**ク**
④	**ア**と**ウ**	**カ**と**キ**
⑤	**ア**と**ウ**	**カ**と**ク**
⑥	**ア**と**ウ**	**キ**と**ク**
⑦	**イ**と**ウ**	**カ**と**キ**
⑧	**イ**と**ウ**	**カ**と**ク**
⑨	**イ**と**ウ**	**キ**と**ク**



問題の構成と出題内容

概念や理論を別の文脈や例にあてはめる問題が複数出題

大問の数は、前回の試行調査から1大問増え、6大問だった。そのうち第1問と第2問、第6問は、センター試験では見られなかったリード文のない問題だった。

出題内容では、前回の試行調査と同様に、概念や理論を別の文脈や具体例にあてはめて考えさせる問題が目立った。例えば、第1問の問3は、経済的自由と精神的自由の考え方を基に、具体的な制度や政策がどの領域にあてはまるかを考察する問題だった。経済的自由と精神的自由の考え方を踏まえた上で、モデル図を参考に、国や地方公共団体の具体的な政策や制度を概念と結びつけて考える力が求められた。また、第2問は、国際経済の流れの中で国際政治の出来事がどのように影響したかを関連づけて考えることが求められた新しい出題だった。

在外国民の選挙権についての最高裁判所判決文やアダム・スミスの『国富論』、人口の推移グラフなど、文献資料や統計資料が多数扱われた。文章の趣旨を把握して判断する問題、複数の統計資料から根拠となる資料を選ぶ出題などがあった。

注目した問題とその分析

探究学習をテーマに、前提図と図表6点を読み解く

第6問は、大問を通して探究学習をテーマとした出題だった。生徒が設定したテーマについて探究する場面設定で、主張に対する根拠となる資料を判断する問題や、質問や意見を複数の観点で整理し分類する問題が出題された。

その中で、問1は、探究学習の結果を示すために様々な考えをいくつかの観点から分類・整理し、適切な資料を選ぶ問題だ。前提文の関係図と、図表6点が提示され、それぞれの資料から読み取れる内容を把握し、資料をそれぞれの関係性を考えながら組み合わせ、具体的な問いを考える根拠になり得るかを判断できるかがポイントだった。

授業では、根拠となる着目点を明確にして資料を与えるなど、資料から必要な情報を抽出したり、複数の資料を関連づけて考察したりする演習を積ませたい。

正解　32 ……1